（別紙様式4）

【職業実践専門課程認定後の公表様式】

令和 4年 7月31日 ※1
（前回公表年月日：令和3年7月31日）

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地
YIC京都ビューティ専門学校	平成21年12月2日	村田 忠男	〒 600-8236 （住所） 京都府京都市下京区油小路通塩小路下る西油小路町27番地 （電話） 075-371-4100
設置者名	**設立認可年月日**	**代表者名**	**所在地**
学校法人京都中央学院	平成19年1月22日	井本 浩二	〒 600-8236 （住所） 京都府京都市下京区油小路通塩小路下る西油小路町27番地 （電話） 075-371-4100

分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士
商業実務	商業実務専門課程	ブライダル科	平成28年文部科学省告示第18号	－

学科の目的	良識ある社会人として必要な資質を持ち、地域社会の発展に貢献できる心豊かな美容業界のスペシャリストとして活躍できる人財を育成する（教育理念）。 具体的には 1. 自分を磨くとともに、まわりの人たちの心と身体を癒しながら美しく健やかな人を創り出すことに喜びを感じ、そのための正しい知識と高い倫理観を持った人材。 2. 外見の美しさだけではなく、健康、知性 、感性 、人間性 、心 、自信 、教養 、これら全てが、真の美しさを創り出す大切な要素であると考え、美容、エステ、メイク、ネイル、ブライダル等ビューティ分野全般の基本的知識・技術を持つとともに、それぞれの専門分野のプロフェッショナルとして必要な技術・知識を究めた人材。 3. 常に変遷する社会に対し柔軟に対応するため、就職後も技術を研鑽し知識を蓄え、職業人としての使命感を持った人材。 4. 人間的な魅力を備え、接客や対人コミュニケーションの場において、「おもてなしの心」で接することのできる人材。 5. 利他の精神で働くことに社会的意義を感じることのできる人材。 6. 挙式の演出・プランニング、メイク・料理の知識まで、幅広く活躍できるトータルプロデュース力を備えた人材。 7. 幅広い教養、将来ブライダル業界の指導的立場やリーダーとなりうる人材。
認定年月日	平成29年2月28日

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	62	30	－	35	－	－
		単位					

生徒総定員	生徒実員	留学生数（生徒実員の内	専任教員数	兼任教員数	総教員数
60人	22人	0人	3人	14人	17人

学期制度	■前期： 4月1日 ～ 9月30日 ■後期：10月1日 ～ 3月31日	成績評価	■成績表： 有 ■成績評価の基準・方法 評価の基準： 成績：秀(100-90) 優(89-80) 良(79-70) 可(69-60) 不可(0-59) 単位：90分×15週の座学（授業）または実習をもって1単位とする。ただし、校外学習などこれによりがたい場合は別途換算する。 評価の方法： 成績評価は、試験のほか、レポート作成、作品作成、実技テスト、資格試験合格、日常の学習態度など担当教員の指定する方法によって、総合的に評価します。なお、各各科目の評価方法については、シラバスに記載していま
長期休み	■学年始： 4月 1日～ 4月6日 ■夏 季： 7月24日～ 8月31日 ■冬 季：12月23日～ 1月10日 ■学年末： 3月10日～ 3月31日	卒業・進級条件	卒業要件：科目履修（単位）認定の要件：80%以上の出席 および 期末試験 60点以上 卒業の要件：必修科目 62単位（1,860時間）の履修 学費及び教材費等の完納
学修支援等	■クラス担任制： 有 ■個別相談・指導等の対応 本人及び保護者への連絡を密にし、本人との面談や場合によっては保護者を含めた面談を行い、状況把握と指導を行う。都度指導記録を残す。	課外活動	■課外活動の種類 （例）学生自治組織・ボランティア・学園祭等の実行委員会等 学園祭実行委員、オープンキャンパス学生スタッフボランティア他 ■サークル活動： 無
就職等の状況※2	■主な就職先、業界等（令和3年度卒業生） ウェディング関連企業、ホテル・旅館業、映像関連企業他 ■就職指導内容 キャリアサポート室は、学生の皆さんのこれらの支援を進めるための中心的な役割を担っています。学生の皆さんが、最適な就職ができるように個別相談、各種情報の提供、会社説明会やガイダンス・セミナー、個別面談、個別面接指導などの実施。 ■卒業者数 17 人 ■就職希望者数 17 人 ■就職者数 17 人 ■就職率 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 ： 100 % ■その他 ・進学者数： 0人 （令和 3 年度卒業者に関する令和4年5月1日時点の情報）	主な学修成果（資格・検定等）※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 （令和3年度卒業者に関する令和4年5月1日時点の情報）

資格・検定名	種別	受験者数	合格者数
ABC協会ブライダルプランナー検定2級	②	12人	12人
ABC協会ドレススタイリスト検定	③	11人	10人
ブライダルコーディネイト3級技能士資格	③	11人	10人
ブライダルフラワーコーディネーター3級	③	11人	11人
秘書検定2級	③	11人	10人

※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。
①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの
②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの
③その他（民間検定等）

■自由記述欄
（例）認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等
0

中途退学の現状	■中途退学者　1 名　■中退率　3 % 令和3年4月1日時点において、在学者29名（令和3年4月1日入学者を含む） 令和4年3月31日時点において、在学者28名（令和4年3月31日卒業者を含む） ■中途退学の主な理由 学習意欲低下
	■中退防止・中退者支援のための取組 入学前学習教材および実力テストによる基礎学力確認および基礎学力向上支援の取り組み。クラス担任制を設けて学生生活を支援するとともに適宜面談の実施。授業アンケートやhyper-QUアンケートの実施・分析による学生面談の実施。スクールカウンセラーの設置およびカウンセリングによる支援および個別相談窓口の設置等。
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度:　有 ※有の場合、制度内容を記入 ・特待奨学金制度（一般常識、面接、書類審査によりSABランクの特待生を選抜）初年度学費よりS：学費20万円免除、A:10万円免除、B：5万円免除 ・ファミリーサポート制度（YICグループ校の在学生または卒業生に親、子、兄弟姉妹がいる者に対し初年度学費より5万円免除） ・ひとり暮らしサポート制度（通学困難者で下宿をせざるを得ない者に対し毎月5千円補助） ・就学支援制度（大学・短大・専門学校卒業＆見込生、社会人経験3年以上であり、本校に入学を希望する者に対し、初年度学費より10万円 ■専門実践教育訓練給付:　非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載 0
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価:　無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 評価団体：0　受審年月：0　評価結果を掲載したホームページＵＲＬ　0
当該学科のホームページURL	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/

（留意事項）
1．公表年月日（※1）
2．就職等の状況（※2）
「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて（通知）（25文科生第596号）」に留意し、そ
3．主な学修成果（※3）
認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時

1.「専攻分野に関する企業、団体等（以下「企業等」という。）との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

（1）教育課程の編成（授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。）における企業等との連携に関する基本方針

・教育課程編成委員会において、学校の方針・編成に対する企業等による意見・提案をいただき、教育課程の編成をより職業実践的にすべく内容改変あるいは新規導入等の可否を検討する。さらに、企業等による連携授業・教職員の技術研修、学生の実務研修、就職指導等の協力・実施計画等併せて討議する。これらの結果は、基本的には次年度の教育課程

（2）教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

・機関企業等からの提言・意見を反映し、職業実践的な教育を行うための、教育課程編成における諮問機関である。
・学校運営から独立した機関であり、理事会直轄の諮問機関とする,。
・臨時委員会は、各種検定資格の内容変更・新技術の導入・業界の新しい動向により教育課程編成を変更・追加が必要になった場合などに委員の要請により開催する。
教育課程の各科目の内容・シラバスなどを検討していただき、新たな導入・内容改善・時数設定などの検討を行う。
会議の結果をカリキュラム検討会議に報告し、学科、コースごとに教育課程の各科目の内容・シラバスなどを検討する。

（3）教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和4年7月31日現在

名　前	所　　属	任期	種別
玄田 宗七	滋賀県美容業生活衛生同業組合	令和3年4月1日～令和5年3月31日	①
藤本 圭哉	株式会社ガモウ関西	令和3年4月1日～令和5年3月31日	③
伊佐治 勇樹	株式会社ORESS	令和3年4月1日～令和5年3月31日	③
中垣 拓磨	ビワコラボ	令和3年4月1日～令和5年3月31日	③
川畑 勉	資生堂プロフェッショナル株式会社	令和3年4月1日～令和5年3月31日	③
岡澤 ひとみ	株式会社WEDDGE	令和3年4月1日～令和5年3月31日	③
三木 千恵子	株式会社ロイヤルホテル	令和3年4月1日～令和5年3月31日	③
村田　忠男	YIC京都ビューティ専門学校　校長	―	―

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。
（当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「－」を記載してください。）
①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員（1企業や関係施設の役職員は該当しません。）
②学会や学術機関等の有識者
③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

（4）教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

（年間の開催数及び開催時期）
年2回 （5月、11月）

（開催日時（実績））
第1回　令和4年5月20日　15:30～17:00
第2回　令和4年11月中旬以降～予定
0

（5）教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

専門学校では人間力、非認知能力としてリーダーシップなど全部学ばせるのは難しい。卒業までに身につけさせてい能力、協調性、リーダーシップ、意欲、頑張り抜く力など数値化できない非認知能力で、学生を送り出す上で、企業が重視する非認知能力の中でもこれだけは備わっていてほしいという能力をしっかりと身につけさせられるようカリキュラムに取り入れるや授業以外の指導なども検討。定義では意欲、強調性、粘り強さ、忍耐、計画性、自己自制心、コミュニケーション力など数値化できない力をしっかり評価することが今後の専門学校に求められていることになる。技術が知識以外の人間力についても企業の皆様ともすり合わせていきたい。
ブライダルはプランナーを目指しておられるが、今のホテルはこのコロナ禍でマルチタスク化が進んでいる。特にブライダルについてはマルチタスクでなくともいろいろな部署とコミュニケーション図って行かないといけない業務でもあるので、ブライダルをメインにしながら、フロントのこと、レストランのことに加え、プールやヘルスクラブなども含めて全体のことを知らないとお仕事はできない。ブライダルに特化しながらもホテル全体を学ぶことは大切なことだと思うので、取り入れられたのはよ

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

（1）実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

国家資格である美容師資格習得に必要な教育科目は美容師養成施設指定規則で定められており、資格取得のために全員が習得しなければならない基礎的・汎用的技術であり必須科目と位置付ける。一方、美容分野の職業に必要な実践的な能力は、業界の最新技術、現場の技術者による実践的技術、業界の動向等、企業等との密接な連携が必須であり、職業教育の質が確保できるとして、選択必須科目および選択科目と位置付ける。

後者の科目については、地域社会で美容業界を主導する50社以上のサロンをネットワークサロンとして組織し、連携することにより、美容業界が求める知識・技能・実務を的確に反映した教育体制としている。ネットワークサロン以外の美容業界のみならず、ビューティ分野の企業、理美容組合、メイク、ネイル、ブライダル、アロマ、マナー等専門分野の学協会とも連携する。

連携の効果をより確かなものとするため、本校と企業、学協会が相互に基本方針を確認し、連携の協定書を結ぶ。具体的な実習・演習計画、授業方法、学修成果の評価、講師（担当者）等については連携の協定書締結時に確認する。

（2）実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

学内の授業・実習などで修得した知識や技術等を企業及び各種団体などの各施設や現場で利活用して実践力を養成しつつ、高い評価が得られる職業社会人として必要なスキルや多様な能力が求められる実態を学生本人が把握をし、そのニーズを見極め自身の醸造と今後の学習において自己課題を設定する機会としている。

・企業等と協定書を締結し、連携授業として美容実習（カット基礎）や美容実習（カラー基礎）の授業や、校外（実務研修）でのインターンシップを行っている。学習内容、評価などは期初に当該企業等との打ち合わせにより決定したシラバスに沿って行っている。

・インターンシップは学校とインターン生受け入れ企業と個別に覚書を結び、学生のレポート⇒企業側のコメント⇒学校のコメント・評価⇒学生へのフィードバックにより学修成果を評価し、その結果を企業に報告することにより、科目の成果、改善・

（3）具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科　目　名	科　目　概　要	連　携　企　業　等
ブライダル コスチューム Ⅰ	人生で最も華やかで輝かしい儀式「結婚式」「披露宴」のための婚礼衣裳。花嫁がその運命の1着に出会われるまでのサポートをするのが コスチュームアドバイザーやスタイリストです。本授業では、衣裳の歴史・ドレスコード・シルエットの名称とその似合う体型を学び、ドレスコード などの扱い方を習得します。洋装（ウェディングドレスやカラードレス）・アクセサリー・ベールなどの小物合わせ、和装についてトータルで学習し、ブライダルの現場で即戦力となれることを目指します。	株式会社バトー・アロマティーク
インターンシップ Ⅰ	カラーリストとしてサロンワークに直結した内容を学び、美容師としての奥深さを知るブライダル業界研究で得た知識をもとにインターンシップ依頼、インターンシップリテラシーを学び、事前準備学習を行う。インターンシップを通じて得た経験を体験報告をレポートにまとめ、報告書を作成する。	アイネスヴィラノッツェ宝ヶ池、 ㈱ザ・セーリング、㈱ロイヤルホテル、㈱日比谷花壇、 東急ホテル、ワタベウェディング、レック
ホテルビジネス実務 （ホテルビジネス基礎Ⅱ）	ホテルの各セクションごとの業務内容、用語などの基礎知識を習得し、11月開催のホテルビジネス実務検定　ベーシックレベル2級の取得を目標とする。ホテルビジネス実務検定を取得することにより、ホテル業界への就職した際にも即戦力として活かせる知識を学ぶ	株式会社ロイヤルホテル

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係
（1）推薦学科の教員に対する研修・研究（以下「研修等」という。）の基本方針 ※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記
（1）推薦学科の教員に対する研修・研究（以下「研修等」という。）の基本方針 ※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記 変わり続ける時代のなかで、専門的知識・専門的技術を持ち、社会に対し柔軟に対応できる人材を教え育てるためには、教員自身が常に研鑽を行い、美容分野の技術・知識を深化させるとともに指導力の向上、企業等との連携による研修等を通して時代に即応した実務能力（知識・技術・技能）の習得・向上に努めなければならない。「学校法人京都中央学院教職員研修規程研修等」に基づき、校内外の研修については、年度計画に基づき学校が学習機会の提供等を行い、また自己申告により日程、費用等便宜を図る。特に授業力、担任力、等の指導力の向上についてはYICグループの人材育成計画に基づく教職員研修規程によりグループ内、校内外で計画研修を実施する。また、職業教育・キャリア教育財団、全国専門学校経営研究会、京都府各種学校・各種専門学校協会（京専各）等が実施する研修にも積極的に参加させる。美容分野の時代に即した実務能力については、企業等が主催・実施する研修会への他、関係企業との連携や教育課程編成委員
（2）研修等の実績 ①専攻分野における実務に関する研修等
研修名：「ABC協会講師資格取得セミナー」　連携企業等：全米ブライダルコンサルタント協会 期間：令和3年3月15日（月）　対象：教員 内容　ABC検定の出題傾向について
②指導力の修得・向上のための研修等
研修名：「教学マネジメント研修」　連携企業等：ベネッセ教育総合研究所　教育研究企画室　佐藤 昭宏　氏 期間：令和3年8月20日（金）　対象：教員 内容　何故教学マネジメントが求められるか、他校事例紹介 内容：　1．なぜ今、教学マネジメントなのか？― 求められる新しい資質能力の評価、質保証の動き 2．大学や専門学校で行われている教学マネジメントの近年の動向 ―マネジメントによる成果や課題―　＊ミニワーク含む 3．ワークショップ ―自校の教育の質向上に向けて― ・（学科・コースの育成すべき人財像に対して）

（3）研修等の計画
①専攻分野における実務に関する研修等

研修名：　0　連携企業等：0
期間：　0　対象：0
内容　0

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名：「かかわりづくりワークショップ」　連携企業等：奈良教育大学教授　粕谷貴志先生
期間：令和4年8月17日（水）　対象：教員
内容　入学直後の学生間の人間関係の築き方、人との関わり方について

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

（1）学校関係者評価の基本方針
より実践的な職業教育の質を確保するため、教育活動の観察や意見交換を通じて、学校の自己評価の結果を評価することを目的とした委員会を置く。
委員会は、教育活動及び学校運営の状況についての自己点検評価の結果を踏まえた学校の評価を行い、その結果を校長に報告する。

（2）「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
（1）教育理念・目標	1　教育理念・教育目標
（2）学校運営	2　学校運営、3　教育活動、9　財務
（3）教育活動	3　教育活動、8　教育の内部質保証システム
（4）学修成果	4　学習成果、8　教育の内部質保証システム
（5）学生支援	5　学生支援
（6）教育環境	6　教育環境
（7）学生の受入れ募集	7　学生の受入れ募集
（8）財務	9　財務
（9）法令等の遵守	2　学校運営、8　教育の内部質保証システム、9　財務
（10）社会貢献・地域貢献	10　社会貢献・地域貢献
（11）国際交流	11　国際交流

※（10）及び（11）については任意記載。

（3）学校関係者評価結果の活用状況
4. 学習成果について
4-4退学率の低減が図られているかにおいて、前年度は退学者がかなり多くでた結果となった。退学理由の内訳は①「体調不良又は病気で学習が継続できない」が17%、②「勉強についていけない」が26%、③「職業に対する興味が無くなった」が50%あった。これについては2番、もしくは3番については入学当初から進研アドのアンケート調査を実施しており、基礎

（4）学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和4年7月31日現在

名　前	所　　属	任期	種別
玄田 宗七	滋賀県美容業生活衛生同業組合	令和3年4月1日～2023年3月31日	業界団体
藤本 圭哉	株式会社ガモウ関西	令和3年4月1日～2023年3月31日	業界企業
伊佐治 勇樹	株式会社ORESS	令和3年4月1日～2023年3月31日	業界企業
中垣 拓磨	ビワコラボ	令和3年4月1日～2023年3月31日	業界企業
川畑 勉	資生堂プロフェッショナル株式会社	令和3年4月1日～2023年3月31日	業界企業
岡澤 ひとみ	株式会社WEDDGE	令和3年4月1日～2023年3月31日	業界企業
三木 千恵子	株式会社ロイヤルホテル	令和3年4月1日～2023年3月31日	業界企業
寺澤 奈美	株式会社 ザ・フォウルビ	令和3年4月1日～2023年3月31日	卒業生

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。
（例）企業等委員、PTA、卒業生等

（5）学校関係者評価結果の公表方法・公表時期
（ホームページ）・　広報誌等の刊行物　・　その他（　　））
URL：　https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/disclosure/
公表時期：　令和4年7月31日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

（1）企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針
「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の趣旨に則り、原則として、ガイドラインが推奨する内容（提供する情報の項目例）全てについて、ホームページ上にて情報提供する。教育活動、その他学校運営の状況、これらの結果は、企業、在学生、卒業生、保護者等関係者にホームページなどに公開・提供していることを、学校便り、オープン

（2）「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
（1）学校の概要、目標及び計画	学校概要、教育目標
（2）各学科等の教育	学科紹介、学科別教育課程、各学科科目別シラバス、卒業要件、カリキ
（3）教職員	教員数、学校組織一覧、
（4）キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育、教育課程編成委員会
（5）様々な教育活動・教育環境	企業連携授業
（6）学生の生活支援	ひとり暮らしサポート制度、奨学金窓口の設置、個別相談窓口設置
（7）学生納付金・修学支援	修学支援新制度、財務報告
（8）学校の財務	財務報告
（9）学校評価	自己点検・評価結果の公表、学校関係者評価委員会
（10）国際連携の状況	
（11）その他	

※（10）及び（11）については任意記載。

（3）情報提供方法
（ホームページ）・　広報誌等の刊行物　・　その他（　　））
URL：　https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/disclosure/
公表時期：　令和4年7月31日

授業科目等の概要

	（商業実務専門課程ブライダル科）																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
1	○			ブライダルコーディネート技能検定Ⅰ	ＢＩＡ検定対策授業。ブライダルコーディネーター検定3級取得の対策を通し、ブライダル業界へ従事する為の基礎知識を学ぶ。	1前	30	1	○			○		○		
2	○			ブライダルコーディネート技能検定Ⅱ	ＢＩＡ検定対策授業。ブライダルコーディネーター検定3級取得の対策を通し、ブライダル業界へ従事する為の基礎知識を学ぶ。	1後	30	1	○			○		○		
3	○			全米ブライダルプランナー検定Ⅰ	主に全米ブライダルプランナー検定2級取得を目的とした対策授業。この授業で使用する教材から日本のブライダル業界の変遷も理解する。また、現在行われいる日本のブライダルでの進行や演出の多くは、欧米のブライダルの流れを受けている事を理解し、それぞれの演出や進行が持つ歴史や意味についての知識を広げる。	1前	30	1	○			○			○	
4	○			全米ブライダルプランナー検定Ⅱ	主に全米ブライダルプランナー検定１級取得を目的とした対策授業。前期に学習した内容を復習し、1級の範囲となるテキスト後半の対策及び、プランナーになった場合を想定した論述形式の問題への対策を行う。	2前	30	1	○			○			○	
5	○			現代ブライダル概論	現在の日本における結婚の定義、歴史や文化を知り、ブライダルとは何か？どんな意味・意義があるのか？を学ぶ。また、プランナーとしてお客様と対応に当たり必要なブライダルの基礎知識や昨今のブライダル業界の傾向や地域性による違い等を学び、対応力を身につける。	2前	30	1	○			○		○		
6	○			現代ホテル理論Ⅰ	ホテルをビジネスモデルとして、運営・経営の仕組みや活動を学びます。講義では、実際のホテルの活動を中心にホテルの社会的役割や、ホテルビジネスを構成する経営の仕組みを、学ぶ。	1前	30	1	○			○		○		
7	○			現代ホテル理論Ⅱ	今、我が国では広く社会全体で”心の教育”への注目度が高まっています。また、多くの企業や組織では、相手の立場に立って、心から相手のことを考えて行動する「ホスピタリティ」を、CS(顧客満足)の向上に役立てようとする取り組みがなされています。この授業では相手の立場に立ったコミュニケーションや気遣い、共創やそのための職場環境、顧客満足などを学びます。	2後	30	1	○			○		○		

8	○			ホテルビジネス基礎Ⅰ	ホテルの各セクションごとの業務内容、用語などの基礎知識を習得し、11月開催のホテルビジネス実務検定　ベーシックレベル2級の取得を目標とする。ホテルビジネス実務検定を取得することにより、ホテル業界への就職した際にも即戦力として活かせる知識を学ぶ	1前	30	1	○			○	○		○	
9	○			ホテルビジネス基礎Ⅱ	ホテルの各セクションごとの業務内容、用語などの基礎知識を習得し、11月開催のホテルビジネス実務検定　ベーシックレベル2級の取得を目標とする。ホテルビジネス実務検定を取得することにより、ホテル業界への就職した際にも即戦力として活かせる知識を学ぶ	1後	30	1	○			○	○	○		
10	○			ブライダルコスチュームⅠ	人生で最も華やかで輝かしい儀式「結婚式」「披露宴」のための婚礼衣裳。花嫁がその運命の１着に出会われるまでのサポートをするのがコスチュームアドバイザーやスタイリストです。本授業では、衣裳の歴史・ドレスコード・シルエットの名称とその似合う体型を学び、ドレスコードなどの扱い方を習得します。洋装（ウェディングドレスやカラードレス）・アクセサリー・ベールなどの小物合わせ、和装についてトータルで学習し、ブライダルの現場で即戦力となれることを目指します。	1前	30	1	○			○	○		○	○
11	○			ブライダルコスチュームⅡ	主にドレススタイリスト検定取得を目指した対策授業を行う。また、前期で習得した技術・接客を活かしてお客様のドレス選びに必要な事前準備、ヒアリング内容、小物類の取り扱いなど、より実践的な対応を学ぶ。	1後	30	1	○			○	○	○		
12	○			ブライダルプロデュースⅠ	学内でオープンキャンパスを通して模擬披露宴を行い、現場の緊張感やチームワークを学ぶ。リアルウェディング（本物の結婚式）の場合もある。また、ブライダルに携わる業務全てを学生時代から経験する事で、プランナーとして通用する人となる事を目指す	1後	60	2			○	○		○		
13	○			ブライダルプロデュースⅡ	学内でリアルウェディング（本物の結婚式）を行い、現場の緊張感やチームワークを学ぶ。また、ブライダルに携わる業務全てを学生時代から経験する事で、プランナーとして通用する人間になる	2後	60	2			○	○			○	
14	○			セレモニープロデュースⅠ	模擬挙式の企画・立案・施行の全てを学生達で行い、ブライダルに関わるスタッフのそれぞれの役割や、チームワークを学ぶ。	1前	60	2			○	○		○		
15	○			セレモニープロデュースⅡ	模擬挙式から披露宴までの企画・立案・施行の全てを学生達で行い、ブライダルに関わるスタッフのそれぞれの役割を理解して、ブライダルプランナーになる意識を高める	2前	60	2			○	○		○		
16	○			ブライダル企画運営	リアルウェディングを想定してお客様からのヒヤリング、結納、挙式から披露宴、引き出物などトータルに企画・立案・施行の全てを学生達で行い、ブライダルに関わるスタッフのそれぞれの役割を理解して、ブライダルプランナーになる意識を高める	2後	30	1			○	○		○		
17	○			レストランサービス	レストランサービスに携わるプロフェッショナルとして身につけるべき基本事項を学び、お客様にレストランの料理だけではく、ホスピタリティーに感動して頂くための技能を見につける。	1・2後前	60	2			○	○			○	

18	○			フラワーコーディネートⅠ	結婚式や披露宴を演出するに必要なカラーフラワーの知識を理解する。フラワーアレジメントの基本の実践とテクニックを学び、表現を身に付ける。ドレスに合ったブーケ提案、披露宴イメージにあったテーブル装飾が提案できる。	1後	30	1			○	○	○		○	
19	○			フラワーコーディネートⅡ	結婚式や披露宴の、装花によるコーディネートを学ぶ。１年時に学習したフラワーアレンジの技術や知識をベースに、模擬披露宴などを通してお客様のニーズに合わせたブーケや会場装飾の提案を学ぶ実践的授業。	2前	30	1			○	○	○		○	
20	○			和装・着付けⅠ	留袖の着付けを通して帯結び（お太鼓・飾り結び）が数種できるように実践的な授業。和装の名称を覚える。新郎新婦の婚礼和装の基本を知識として学ぶ。	2前	30	1			○	○		○		
21	○			和装・着付けⅡ	留袖の着付けを通して帯結び（お太鼓・飾り結び）が数種できるように実践的な授業。和装の名称を覚える。新郎新婦の婚礼和装の基本を知識として学ぶ。	2後	30	1			○	○		○		
22	○			京都和婚	歴史ある京都の由緒ある神社と寺院で結婚式を挙式プラン、衣装選び、披露宴会場の手配などについてプランニングできるように学ぶ。	2後	30	1			○	○		○		
23	○			ブライダルプランニング演習	プランナーにおける結婚式当日までの打ち合わせの流れを知る。また実際に打ち合わせ内容について説明ができるようにロープレを実施する。	2前	30	1			○	○		○		
24	○			ブライダル広告研究	ブライダル業界で大きく費用のかかる宣伝広告費を理解しながら、マーケティング手法を学びリアルウェディングのリーフを作成する事で集客につなげる。	2後	30	1			○	○		○		
25	○			インターンシップ	ブライダル業界研究で得た知識をもとにインターンシップ依頼、インターンシップリテラシーを学び、事前準備学習を行う。インターンシップを通じて得た経験を体験報告をレポートにまとめ、報告書を作成する。	1前	##	4			○		○		○	○
26	○			色彩学Ⅰ	色は生活の様々な分野にかかわっている。色彩に関する基本的なことを学習し人の心理面にどのような働きかけをすりのかを知り効果的に使用していく。色の分類・効果・演出と体系的に学習していく。	1後	30	1	○			○		○		
27	○			色彩学Ⅱ	色は生活の様々な分野にかかわっている。色彩に関する基本的なことを学習し人の心理面にどのような働きかけをすりのかを知り効果的に使用していく。色の分類・効果・演出と体系的に学習していく。	2前	30	1	○			○			○	
28	○			ブライダルヘアメイク	婚礼における洋装と和装の際のメイクの違いについて学び、また限られた時間内でいかにアレンジの幅を広げることができるか実践を通し学ぶ。	2前	30	1			○	○			○	

29	○			メイクアップ基礎	JMA検定テキストに沿い、就職活動や現場に出た際にお客様に好印象を与えるセルフメイクのテクニックを習得する。技術の他、道具の扱い方の知識はもちろん、セルフメイクに限らず、相モデルに対してのメイクテクニックを習得する。	1前	60	2			○	○			○	
30	○			メイクセラピー	花嫁様の披露宴での心理的なストレスを和らげるメイクセラピーの技術を身につける。	2後	60	2			○	○		○		
31	○			ヘアアレンジ	就職活動や就職後に役立つ為、自身の夜会巻やシニヨン等を短時間で美しく仕上げれるようになる。また、新婦様のヘアスタイルについていくつかのパターンを習得しご提案可能となるよう、技術を習得する。ウィッグ使用の実技中心となる。	1前	30	1			○	○			○	
32	○			ビジネス基礎Ⅰ	会社とはどのような組織か、そこで行われている仕事とはどのような内容かを学ぶ。	1前	30	1	○			○		○	○	
33	○			ビジネス基礎Ⅱ	会社とはどのような組織か、そこで行われている仕事とはどのような内容かを学ぶ。	1後	30	1	○			○			○	
34	○			硬筆書写Ⅰ	ブライダル業界で必要な美しい手書き文字を身に付け、お客様への手紙、商談のメモ等、字で信頼して頂くために、硬筆書写の基礎的な技術及び知識をもって書くことが出来るようになる。また就職活動時に正し	1前	30	1	○			○			○	
35	○			硬筆書写Ⅱ	ブライダル業界で必要な美しい手書き文字を身に付け、お客様への手紙、商談のメモ等、字で信頼して頂くために、硬筆書写の基礎的な技術及び知識をもって書くことが出来るようになる。2月に準2級の硬筆書写	1後	30	1	○			○			○	
36	○			サービス接遇Ⅰ	ブライダル業界で働くにあたり必要な心構えと接客力を身につける、サービス接遇を通し、理解を深める。	1前	30	1	○			○			○	
37	○			サービス接遇Ⅱ	ブライダル業界で働くにあたり必要な心構えと接客力を身につける、サービス接遇を通し、理解を深める。	1後	30	1	○			○			○	
38	○			プレゼンテーション・ディベート学 Ⅰ	プレゼンテーションを行なうために必要な基本的な事柄を学ぶ。　プレゼンテーションの意義・目的、内容、進め方、ツールの活用など、基礎を学ぶと同時に、話し方などの口頭表現、身体表現を中心とした演習を行なう。	1後	30	1	○			○		○		
39	○			プレゼンテーション・ディベート学 Ⅱ	プレゼンテーションを行なうために必要な基本的な事柄を学ぶ。　プレゼンテーションの意義・目的、内容、進め方、ツールの活用など、基礎を学ぶと同時に、話し方などの口頭表現、身体表現を中心とした演習を行なう。	2前	30	1	○			○			○	
40	○			文書表現力	ブライダルの現場において、お礼状や招待状、様ざまな契約、販売におけるビジネス文書スキルの向上を目指す。	1後	30	1	○			○		○		
41	○			ビジネス英語基礎	接客を行う上で、英語における応対能力を身に付ける。英語応対能力検定におけるレベルBを目指す	2前	30	1	○			○			○	

42	○			ビジネス英語応用	ビジネス英語基礎で学んだ知識を応用し、接客時に英語応対が可能となることを目指す。	2後	30	1	○			○			○	
43	○			ビジネス英会話	ブライダルの現場で必要な会話について、ビジネス英語基礎で学んだ知識を応用し、接客時に英語応対出来る英会話スキルを身につける	2後	30	1	○			○			○	
44	○			ブライダル企業研究	婚礼会場はどのような場所にあるのか、そこではどのような仕事があるのか、関連業種などについて調べる。インターンシップの事前学習も行う。ブライダル業界をプレ・当日、新生活部分に分けて様々な角度から検討し、理解を深める。	1前	30	1	○			○		○		
45	○			キャリアデザイン	各自の就職活動が円滑に進むよう、担当教員がアドバイスなどを適宜行う。エントリーをした企業への履歴書の記入や自己ＰＲなどを具体的に指導する	1後	30	1	○			○		○		
46	○			基本IT技術Ⅰ	Word・PowerPoint他アプリを使用しながら伝わるデザインを模索し完成させ伝えることができるようになること。	1後	60	2			○	○			○	
47	○			基本IT技術Ⅱ	デジタルを利用することでルーチンワークの軽減を体験する。また、インターネット・ホームページ・パソコンなどの広範囲のデジタルの基礎知識を習得する	2前	60	2			○	○			○	
48	○			基本IT技術Ⅲ	デジタルを利用することでルーチンワークの軽減を体験する。また、インターネット・ホームページ・パソコンなどの広範囲のデジタルの基礎知識を習得する	2後	60	2			○	○			○	
49		○		ソーシャルメディア	現在、業界においてSNSの知識は必要不可欠となっている→今後の業界の動向からもメイクやエステの業界でもオンラインでのカウンセリング、接客、商品の紹介など次年度に関してはSNSの活用を学ぶソーシャルメディア概論を新たに導入予定。SNSでの集客はもちろん、マーケティングやツイッター、インスタグラム、LINE@などSNSの発信、リスクマネージメント力、マーケティング力の基礎知識を身に着ける。	2後	30	1			○	○			○	
50		○		論理的思考力基礎	日常生活に関する題材を取 り上げ、論理的な思考力をつけ、数学的な考察を行える。小学校の算数程度の力だけで楽しみながらできる。一般にビジネス、つまり仕事におけるコミュニケーション能力とは論理的な表現力を指し、情報の収集、整理・統合、思考そして発信に至るまで論理的であることが要求されるため、今日、社会人として求められる能力の1つであるコミュニケーション能力を数学的思考を通して身につける。	2後	30	1	○			○		○		
51		○		ボランティア活動Ⅰ	ｓ各分野で活動する実践者によるオムニバス方式での講義をとおして、ボランティア活動の価値、意義、役割、実際の活動等について理解を深めた後に，実際にボランティア活動を行う。施設見学や実際のボランティア体験等を行う予定なので、シラバスの変更（施設との調整などにより）が行われることもある。・ボランティア活動は	1前	30	1	○				○	○		

52		○		ボランティア活動Ⅱ	各分野で活動する実践者によるオムニバス方式での講義をとおして、ボランティア活動の価値、意義、役割、実際の活動等について理解を深めた後に，実際にボランティア活動を行う。施設見学や実際のボランティア体験等を行う予定なので、シラバスの変更（施設との調整などにより）が行われることもある。・ボランティア活動はもうひとつの信頼を育むコミュニケーションであることを覚える・ボランティア活動のリスクなどについても学び、専門職として関わることを前提とした学びの視点、実践活動　を通じたスキルや知識を覚える・主体的にボランティアに参加することができる人材になる	2後	30	1	○				○	○		
57																
58																
59																
合計					51　科目			65（1950）　単位（単位時間）								

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件：	必修科目 62単位（1,860時間）の履修/80%以上の出席 および 期末	１学年の学期区分	2 期
履修方法：	基本対面授業/一部オンライン形式及びオンデマンド形式にて実施	１学期の授業期間	15 週

（留意事項）

１　一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

２　企業等との連携については、実施要項の３（３）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。